

# 八王子市立第二小学校「平成19年度授業改善推進プラン」

**【八王子市教育委員会教育目標】**  
 「あふれる元気」 健康な心身・活力  
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性  
 「仲間とともに」 協調性・社会性  
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性の育成に向けた教育を推進する。

**【教育目標】**  
 よく考え、工夫する子ども  
 責任を果たしよく働く子ども  
 健康で心豊かな子ども

1 地域の実態  
 ・歴史と自然に恵まれ、保護者・地域は本校の教育活動に協力的である。サマーキャンプ、にこにこ運動会など地域行事が年間を通して行われている。  
 2 地域・保護者の期待や願い  
 ・伝統ある地域で、学力よりも子どもらしさや優しさを求める声比較的多い。近年は、子どもの学力向上、個に応じた指導、きめ細かい生活指導等を要望する声もある。  
 3 期待される児童像  
 ・自分で学ぶ、みんなと学ぶ児童  
 ・粘り強く取り組む児童  
 ・心豊かで互いを認め合う児童

《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）  
**【国語】**  
 ・おおむね良好な結果である。特に、読む能力及び言語についての理解は比較的到達度が高い。  
 ・課題としては、話す聞く能力の到達度が不十分である。聞いたことに基づいて自分なりの考えを表現する場の設定が必要である。  
**【社会】**  
 ・関心・意欲・態度や思考・判断する能力の到達度は、比較的満足できる結果である。高い意欲にもとづいて、より一層課題解決に取り組む授業を展開していく必要がある。  
 ・課題としては、資料活用・技能・表現や知識・理解の力が不十分である結果が見とれる。具体的な資料に基づいて結果を予測したり、社会に関する知識の定着を図ったりする場面設定を授業の中に取り入れていく必要がある。  
**【算数】**  
 ・全体を通して課題が多くみられる。個に応じた指導の充実が求められる。  
 ・課題を分析すると、数の関係や図形に課題が多く、図形の違いや垂直・平行など定義の理解が不十分である。また、単純な計算に比べ、計算の順序や表の分類整理などに課題があり、指導内容に偏りがないように全領域を網羅した計画的な指導が必要である。  
**【理科】**  
 ・領域別では、＜地球と宇宙＞の領域では理解が十分であった。  
 ・観点別では、科学的思考や関心・意欲・態度の到達度が不十分であった。実験結果に基づいた結論を導き出せるよう、授業の中で児童が考える場面をより一層設定していく必要がある。  
 本校の児童は、素直で授業に対してもまじめに取り組む児童が多い。一方、自分の考えを表現するのはあまり得意ではないようである。授業の中で、個々の考えを発表し、個人の考えを互いに聞きあう場面を設定していくことが課題である。また、読み書き計算の基礎学力の定着、用語や名称等の知識の定着も、より意図的計画的な指導内容の改善が必要である。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》  
 ・基礎基本の確実な定着・・・・・・・・定着のための具体的な時間、場面、教材の設定・朝学習・補習等。  
 ・個に応じた指導の充実・・・・・・・・指導形態、指導方法の工夫。学習支援者等の計画的な支援。  
 ・分かる授業、楽しい授業の創造・・・・・・・・協同学習や体験学習の積極的活用。学習のねらいや到達目標の明確化。指導と評価の一体化。  
 ・自ら考え調べ解決する力の育成・・・・・・・・児童が主体的に考え進んで活動する学習が形成される授業。図書室、パソコン周辺機器の整備。  
 ・健康な体や体力の育成と心育ての教育・課題や目標を明確にした体育の実践や体育の授業。計画的な道徳・総合的学習の時間・特別活動・人権教育等の推進。食育と生活指導の充実。

**《本年度の学力向上の具体策》（いつまでに、どの程度）**

**<指導形態の工夫>**  
 朝学習・・・・・・・・火・水・金の8:25～35 漢字や計算ドリル・朝読書・読み聞かせ等週の指導計画に予定を立て実施  
 補習授業・・・・・・・・休み時間・放課後・長期休業日等に実態に応じて実施。算数少人数指導担当者が、算数の補習を行う。(月3年、火4年、木5年、金6年の昼休み)  
 少人数・習熟度別指導・・2～6年少人数指導。3～6年は習熟度別指導を実施。  
 学習支援・・・・・・・・インターンシップ・ボランティア等を活用していく。  
 個別指導(特別支援)・・専科教諭・特別支援サポーターによる個別学習支援を実施する。

**<指導方法の工夫>**  
 協同学習・・・・・・・・全教科を通して個の思考力やコミュニケーション能力及び学び合いの心を育むため、1単位時間の中に「自分で学ぶ場・みんなと学ぶ場」を設定する。  
 体験的学習・・・・・・・・社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間を中心に、体験を通して学ばせていく。  
 問題解決学習・・・・・・・・問題解決の場面で絵や図に表して説明する等、解決のための道筋を明らかにする。  
 ねらいを明確にした授業・板書やカードを効果的に活用し、学習の目標を明確に示して授業を実施する。

**《学力向上の成果の検証及びその評価方法》**

**【児童の基礎学力】**  
 ・振り返りカード・ミニテストをして本時の学習の定着を図り、指導方法をふりかえる。  
 ・年度末に各学年ごとに、授業改善推進プランに沿った改善策の成果を検証する。

**【授業評価】**  
 ・授業内容について、教員個人による自己評価・管理職による評価や、学期ごとの授業参観の折に保護者アンケートを実施し、授業改善の成果を検証する。  
 ・児童による授業評価や学習意欲に対するアンケートを実施する。  
 ・結果について保護者会や学校だよりを通して伝えていく。

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	話す…みんなの前で話せない子はいないが、声の小さい子もいる。  書く…文を書き始めた段階なので、表記が正しくない子や思いをどう表現したらよいかわからない子もいる。	声の小さい子には、声のものさし、音量マシーンを活用して、大きな声が出せるようにする。 全教科の中で、みんなの前で話す活動を多く設定する。 助詞(てには)や語句に気をつけて文を書かせる。 作文ノートを活用して、作文や日記を書かせ紹介することで、表現する楽しさに気づかせる。 自分の考えを書いてグループの中で発表して、お互いの意見を伝え合う場面を設定する。	音楽	歌唱や身体表現の活動を楽しんでできるが、表現する力には個人差がある。	楽しく活動できる歌や、リズム遊びを取り入れ、一人一人が積極的に参加できるように工夫する。 鍵盤ハーモニカの初期指導を丁寧に行い、技能を身につけさせる。
	読む…本は好きだが、まだ物語等を手にする子が少ない。声に出して読むことはできるが、気持ちを込めて読むまでには至らない。  言語…ひらがなと音便を学習したが、すでに個人差も大きい。	音読カードの活用を通して、家庭に協力してもらい、声に出す経験を多く取り入れる。 読書環境を整えたり(学級文庫交換)、毎週木曜日の読書の日に読み聞かせをしたりして、読書に親しむ。  「漢字の学習」ドリルの活用やテスト、10分の朝学習や、1日10分の家庭学習で習熟を図る。	図工	基本的な用具の扱い方や材料の使い方をも十分に身に付けさせるとともに、豊かな表現力を身に付けさせることが課題である。	絵の具の初期指導を丁寧に行い、作品展に向けて一人一人の思いを膨らませ、豊かに表現する力を育てる。
	算数	計算力の習熟に徐々に差が開きつつある。計算のスキルアップとともに、算数の楽しさを失わずに興味関心を維持、高めることが課題である。	プリントや計算カードなどを活用して、くり上がり・くり下がりの計算の反復や習熟を図る。 作業的、体験的な学習を通して、楽しさを味わわせる。 支援や放課後の個別学習で習熟を図る。	家庭	
算数			体育	集合、整列、ルールを守る指導が十分とれなかったが、運動は楽しんでできる。  各自の目標を明確にし、鉄棒、なわとび、マラソンカード等を活用して意欲を高め、基礎的な技能が身に付くようにする。 チームの仲間と協力してゲームができるようにする。	
生活	自然現象や自分の生活、環境に対する興味関心を高めることが課題である。  地域の人材や環境を有効活用する。	体験学習(あさがおのリース作り・さつまいもの収穫祭・秋で遊ぼう・サケを育てよう・春の花の栽培活動)を推進していく。 浅川のサケの放流等を通して、地域環境や地域人材を活用する。	総合的な学習の時間		
その他(道徳・特別活動等) <b>【道徳】</b> ・教材を工夫し、ワークシートや心のノートを活用して、自己を見つめる手立てをとる。 <b>【特別活動】</b> ・係や当番活動を責任と見通しをもって楽しく活動できるように、環境を整えたり、自己評価を取り入れて実施する。 ・学級活動の進め方をマニュアル化し、輪番制で司会を経験させて、話し合い活動を随時取り入れる。 ・よりよい学校生活をおくるための具体的なめあてをもたせて指導にあたる。					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<p>全体を通して個人差が大きい。興味が持続する時間が短い。話すことについては、接続詞の使い方を今後指導していきたい。</p> <p>読み聞かせは好きで集中して聞いている。よりいっそう充実させたい。</p> <p>作文の中で漢字やカタカタを使っていることが苦手である。</p>	<p>聞くことについては、日々の授業の中で話は最後まで聞くなど指導する。話すことについては朝の会、帰りの会などで、順序を表す言葉をいれたり、内容についての自分の感想を入れたりするように指導する。</p> <p>本を紹介して教師による読み聞かせや朝読書(隔週木曜日)をし、読書記録をつけていく。</p> <p>よい作文や日記を紹介し、漢字の使い方やカタカナの使い方にもふれていき意欲をもたせる。(週末の日記の宿題などを通して)</p>	音楽	<p>身体を使って楽しく歌うことができる。鍵盤ハーモニカの練習がまだ十分でない。</p>	<p>協同学習の手法を用いて隣どうしやグループを使って聴いたり聞かせたりして活動する意欲を育てながら、楽器練習をしていく。</p>
			図工	<p>粘土や絵の具を使っての造形遊びや貼り絵などを楽しんだ。ゆっくり作業する子と早く終わってしまう子の時間差を埋めていくことが課題。</p>	<p>作業が進むように素材の選択をしたり、作業手順など具体物を使って指導したりしていく。</p>
算数	<p>基礎基本の充実 計算についてはおおむね満足できる域に達している。</p> <p>文章題については、問題の題意の把握が課題である。</p>	<p>よりいっそうの習熟をしていくために学年共通の課題を出していく。(プリント、ドリル)</p> <p>授業の中で具体物を使って考える場を設定したり、言葉に注目させたりして、解くヒントとしていく。 問題文を声に出して読んだり試写したりして題意を把握していく。</p>	家庭		
			体育	<p>運動会・プールなど楽しんで行うことができたが、ボール運動・固定遊具・縄跳びなどの器械運動などをする時間が十分とれなかった。</p>	<p>固定遊具やボール運動などで、「ちからだめし」や、目標を決めるためのカードを使った学習を組む。</p>
生活	<p>意欲をもって活動ができたが、1単元の指導期間が長いので意欲を持続させることが課題である。</p>	<p>担任のもとをはなれての活動が多いため、常時活動をしているかなどの点検や進み具合などを確認するための声かけをしていく。</p>	総合的な学習の時間		
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>【道徳】 心のノート・ワークシートなどを活用し、自分の心に向かい合う時間を設定していく。</p> <p>【特別活動】 学級活動の時間を使ってみんなで遊んだり、作ったりする活動を通して楽しさを味わわせる。学級の問題について気付かせ、考えよりよいクラス。楽しいクラス作りに向けた実践力を育てる。(クラスあそびやゲーム集会)</p>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	音読は好きな子が多いが内容を確実に捉えさせるに至っていない。 漢字はミニテストの結果はよいが定着はまだ時間がかかる。 作文において正しい表記や思いが書き表せない子など、個人差が大きい。	朝学習の時間に暗唱練習をしたり、友だち同士で聞き合ったり、教師が休み時間などに聞いたりしながら内容把握も定着させる。 漢字マスターノートや漢字ビンゴを利用し、定着をはかる。 週一度、日記や作文を書かせ、協同学習の技法を取り入れ、書く力を身につけさせる。	音楽	元気に楽しく歌っているが、音の高低を正しく歌うのが課題。	毎時間音階練習をし、階名と音程とが結びつくようにしていく。
社会	自分たちの地域や人々のくらしに目を向けさせることが課題である。 見学したり、調べたりしたことを上手にまとめさせることが課題である。	地域に出かけて直接見学したり、体験したり、調べたりする活動を増やし、地域に対する興味を喚起させる。 調べたことをワークシートを利用したりして、書くポイントをはっきりさせてまとめさせる。	図工	楽しみながら進んで表現する児童がいる反面、表現することが苦手な児童もいる。	苦手意識を少なくするため体験を多く取り入れ、表現する楽しみを味わわせていく。
算数	基礎的な計算力が定着していない子もいる。 文章題などを読んで理解し、筋道を立てて考える力に個人差がみられる。	確認プリントや宿題プリントなどで繰り返し練習し定着をはかる。 具体物を使ったり、図に表したりすることにより理解を深める。	家庭		
理科	植物や生き物に興味、関心をもって育てる児童が多いが個人差もある。 科学的な見方や考えにたっとなることが難しい。	一人一人の観察する植物を決め、直接触れる機会を多く設け、自然に対する興味・関心を広げていく。 与えられた条件の違いによる変化の違いをしっかり観察させたり、自然事象における原因と結果の関係を考えさせたりすることなどにより、科学的思考力を養う。	体育	得意なことは進んでやるが、苦手なことはやりたがらない傾向がある。	基本的な技能を丁寧に指導し、わずかな進歩でも大いにほめることを繰り返し、自信をもたせる。 自分のめあてをはっきりもたせ、体育の時間や休み時間、カードを使って意欲や技術の向上をはかる。
生活			総合的な学習の時間	決めた課題について興味をもって調べようとする態度をしっかりと身に付けさせることが課題である。	課題に向かって進んで調べられるように、調べる方法を示したり、インタビューの仕方を考えさせたりする。
その他（道徳・特別活動等） <b>【道徳】</b> ・善悪の判断はできるが、行動がともわないこともあり、相手を思いやる心を育む指導に重点をおく。 <b>【特別活動】</b> ・司会グループを輪番制にし、学級会を充実させ、自主的な活動ができるようにする。					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	語いを広げる。 音読練習の一層の充実。 表現力の育成。	読書マラソンの継続。 読書週間の活用。 音読範囲を児童の実態に合わせて見直す音読カードの改善。 作文帳を継続的に取り組む。作品の相互交流。	音楽	読譜ができるようになってきたが、リズムと、音符の関係をつかませることが課題。	振り向きカードを利用し、リズム感を定着するようにしていく。
社会	日常生活と「社会」とを関連づける力を身につけることが課題。常に興味をもって見る目、深く考える目を育成させる。 資料の読み取る力を身につけることが課題。	朝の学級指導や社会科の授業の時間に、地域の様子や、テレビ等のニュースなどにも目を向けた話を積み重ねる。 一単元の中で必ず、資料を読み取り、一回は自分の考えを発表するよう指導する。	図工	描いたり、作ったりを楽しむ様子がみられる。 雑になったり、工夫が必要と思われることがある。集中力を持続させ、最後まで仕上げられる力をつけることが課題である。	作品作りの中に基本的なものが学べるように材料や題材を工夫したものを取り入れていく。 途切れず集中できるように興味をもて、楽しめる作品作りをする。
算数	問題の意味を理解し、既習事項をもとにして論理的に考えさせることが課題。 一人一人のつまずきの応じた個別指導。	問題文の中の大切な言葉に気をつけて読むよう、授業の時に重視して指導する。 必要に応じて、休み時間を利用した個別指導を行う。 インターンシップ生の協力もお願いする。	家庭		
理科	興味・関心を持って意欲的に取り組む力の育成することが課題。 自然の決まりを整理して理解する力の育成が課題。 一人一人の児童が自分で体験できるようにする。	身の回りの自然現象に目を向けたりや生活に結びつくような指導を展開したりして意欲を育成する。 具体的な体験・実験・観察を重視する。また、それを論理的な思考に結びつけるためのまとめ方など指導を工夫したい。 実験のグループをできるだけ少人数になるように器具を用意する。自分の手で体験できるように	体育	ボール運動・器械運動など、興味・関心が特定の種目に偏らないようする。	それぞれの持つ運動の楽しさが伝わるように考えながら、基本的な技能が身につくための各自の「練習目標」を明確にする。 学級活動と関連づけて、さまざまなスポーツに親しむ。(学年集会の計画を実行委員会を組織して行う。)
生活			総合的な学習の時間	さまざまな体験を通して幅広い興味・関心を育てたい。 体験したことを活用し表現したり、考えを深める指導の難しさを感じる。	より多くの体験プログラムが設定できるようにゲストティーチャーの協力をお願いする。 体験したことの意味づけ・整理の工夫をする。 (協同学習の技法を活用する。)

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

## 【道徳】

- 互いに尊重し合うことを重点とした指導。

## 【特別活動】

- 学年スポーツ大会の計画・実施を通して、協力・協同の関係をつくる。

- 自己表現の機会を設ける。

- 一人一人の実態に合わせた指導ができるようにつとめる。

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	全体的に自分の考えを具体的に表現することを苦手とする児童が多い。音読や発表の声を大きくするのが課題。 進んで読書をする児童は多いが、読書量に個人差が見られる。 漢字はミニテストの結果はよいが、日常的に使えるまでには定着することが課題。 作文では個人差が大きい。	グループ群読や交代読みなど群読・音読の仕方を工夫する。 スピーチや情報発信の場など全体の前で話す機会を増やす。 読書時間を確実に確保する。(週1回、朝読書とする) マスターノートでの練習の徹底。作文では必ず再考させ、既習漢字をチェックさせる。 手本となる作文を紹介したり、パターンに当てはめて書く練習を取り入れる。	音楽	正しい発声と美しい響きで歌えるが、少人数になると「恥ずかしい」という気持ちが強くなり歌声が聞こえない。	自分の声に自信をもち、しっかりと発声で歌っていけるよう、講師を招き今一度基本から指導していききたい。
社会	社会事象への興味、関心には個人差が大きい。 地図や統計などの資料を読み取る力の定着が不十分である。 資料を効果的に活用し、調べたことを的確に表現する力を伸ばしたい。	新聞記事やニュースなどを朝の会や他教科でも取り上げながら、日常的に社会事象に関心がもてるように働きかけていく。 単元の中で必ず資料を活用し、資料の見方や読み取りを丁寧に扱う。 資料活用を課題にして、調べたりまとめたりさせる。	図工	工夫して作品作りを楽しむ様子が見られる。 仕上げまで意欲が続かなかったり、雑になってしまったり、時間内で終わらないことなどがある。集中力が途切れないような作品づくりをさせたい。	自分らしさを出せるような課題、材料で子ども達の意欲に対応したい。 思い描いたものが作品となるよう、材料の工夫、技法の指導などしていきたい。作業に集中して進めること、能率、段取りを考えられるような指導の工夫をする。
算数	計算は比較的良好にできる児童が多いがミスが目立つ。 数学的な見方、考え方を必要とする文章問題、単位換算、作図の苦手意識を取り除くことが課題。	計算問題では必ず見直すことを徹底させる。 算数的な活動(操作活動)を取り入れた授業を展開する。問題の場面を絵や図に表して友達に説明させる場を設ける。 個別に補習を行っていく。	家庭	日々の生活をより良くする事については興味関心をもっている。 調理、裁縫ともに実習については意欲的に取り組んでいる。 生活に必要な技術を身につける力は個人差がある。	仕事カード、チャレンジカードなどで自分から家庭の仕事に取り組むようにさせる。 実習の機会を多くし、基礎的技術が身につくようにする。
理科	内容によって興味、関心の差が大きい。個人差もある。 変化の条件に着目し、観察や実験の計画を考え実行する力、結果を適切に考察する力をつけ、科学的な理解へつなげていきたい。	直接観察・観測で学習を進め意欲をもたせる。 まとめには、ビデオなども有効活用する。 各自が課題をしっかりと取り組めるよう、教材を工夫し、興味を高める。 実験の計画、観察・実験、考察をグループで意見交換しながら学習する場も設定する。	体育	体を動かすことを好み、チームでゲームを楽しんだり、音楽に合わせて楽しんで踊ったりすることができる。 自己の体力に目を向け、高めるために目標をもって努力できるといい。 集団技能を身に付け作戦にそった動きができるようにする。	運動の特性に応じた技能が身に付くよう、練習方法を工夫する。 ゲームでは、チームにあつためあて、ルールや場にあった作戦を考えさせる。
生活			総合的な学習の時間	課題解決に必要な情報を得たり、調べたことを伝えたりすることが苦手な児童が多い。 体験的な学習には興味・関心をもって取り組む。 将来への夢や目標に向かって自分を成長させようとする気持ちをもたせていくことが課題。	課題解決に必要な情報の集め方や情報の活用の仕方を再確認する。 グループ活動を取り入れ、プレゼンテーションで表現する力をつける。 ゲストティーチャーを招いて指導を受ける。 ドリームマップ作りを通して将来について考え、目標をもって生活していこうとする態度を育む。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>【道徳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場や気持ちがわかる子を育成するための指導を重視する。</li> </ul> <p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>係・当番・委員会・清掃活動、学校行事に積極的に取り組み、責任をもって最後までやり抜く力、よく考え判断して行動する力、みんなのために進んではたらく態度を育てる。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶、返事、言葉づかいがしっかりできるよう日常的に指導していく。</li> <li>食育に取り組み、感謝して食べ物をいただく心を育て、好き嫌いなくしっかり食べるようにする。</li> </ul>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	漢字、語彙力の定着が不十分のため、全般的に書く活動や表現が苦手である。 自分の考えを、的確な言葉を使って伝えることが苦手である。  漢字の定着、そして、書く活動や話す活動で使える語彙を増やしていくことが課題である。	漢字ドリルを活用し、繰り返し取り組むことで、定着を図るとともに、朝読書を設定する。 単元に入る前に、難解語句等の意味調べをすることで、辞書を引く習慣をつけさせ、語彙を増やしていく。  マスターノートの短文作りや日記など、継続的に文を書く活動を取り入れていく。	音楽	合奏において、易しい楽器を希望する傾向がある。練習すればできる実力があるが、「もしできなかったら、…」練習が面倒という状況になるので、難しいパートを演奏する子どもがいない。	授業の中で、演奏ができるようになった喜びと感動を味わわせるために、個人の能力に応じたパートを設定する。
社会	歴史に興味をもち、授業も意欲的に取り組んでいる。 新聞作りでは、資料を丸写しにしてしまう場合が多い。読み取った資料から、何が分かったのか、自分は何を感じたのかということ、表現できるようにするのが課題である。	単元のまとめとして、既習事項をクロスワードで確認するなど、子どもの興味をさらに引きつける教材を開発する。 資料から気づいたことを書いたり、発表したりする活動を増やすことで、自己の考えを深めたり、表現力を高める。 日常的に新聞を読む習慣をつける。	図工	新しいものを考えたり、よりよいものを工夫したりしようとする様子が見られる。 時間がかかりすぎて、仕上がりが雑になったり、遅れがある。 一定時間内に、思い描いた仕上がり作品にさせたい。	材料や技法の工夫で子どもたちの創意工夫を充実していきたい。 必要なものをしっかりと準備しての作品づくりは、能率的で、無駄がないことを指導する。 手順、段取りの工夫などの指導をし、的確に作業が進められるようにしていく。
算数	習熟の個人差が課題である。  文章題での立式の理解(例:除数と被除数の関係)について定着が不十分である。  個に応じた指導の工夫することが課題である。	算数が苦手な子に対しては、教科書・ドリルの基礎、基本の問題に時間をかけて取り組ませる。 式を数直線や具体物で表すことで、視覚的に立式の意味が分かるような工夫をする。  週に1回、昼休みに補習を行う。	家庭	生活をより良くする事について、興味関心をもっている。また、調理実習、裁縫とも、実習については意欲的に取り組んでいる。 生活に必要な技術を身につける力は個人差がある。	チャレンジカードで、工夫して家庭の仕事に取り組ませる。  実習の機会を多くし、基礎的な技術が身に付くようにする。
理科	実験課題は興味をもって取り組む子どもが多い。実験中の態度もよく、準備、片付けもスムーズにできる。 自然体験については個人差が大きく、ダンゴ虫などを触れない子もいる。そのため、身近な自然に興味をもつための、環境作り、教材開発が課題である。	“実験が楽しい”で終わらせるのではなく、そこから科学的な思考につなげていくために、教材を工夫し、五感に訴える授業を展開する。 自然観察については、校庭だけにとどまらず、自分の住んでいる地域まで活動の幅を広げ、興味をよもたせる環境作りをする。	体育	運動能力の個人差が大きい。 ボール運動、なわとび運動・表現運動(ダンス)は意欲的に取り組んでいる。 器械体操は全般的に苦手である。  柔軟、筋力向上運動に取り組ませ、基礎体力をアップさせることが課題である。	技能レベルに応じた集団で、相互に教えあう関係を築き、お互いに高め合える環境作りをする。  スモールステップの技能カードを使用し、無理なく、段階を追って技を習得できる環境を作る。 基礎運動に遊びの要素を入れるなどの工夫をし、楽しみながら体力向上ができるようにする。
生活			総合的な学習の時間	グループでの調べ学習では、協力して取り組む姿が見られる。 資料がインターネットの情報だけに偏りがちなので、幅広い媒体から資料を探す、技能と態度を身につけることが課題である。	地域密着型の校外学習が積極的に行えるような学習環境を整える。 一つの資料だけでなく、様々な資料を活用することで、多角的に物事を見られる態度を育てていく。

その他(道徳・特別活動等)

【道徳】

- ・身の回りで起きている身近な題材を取り上げることで、子どもの関心をひきつける。
- ・自分の考えをもち、自分自身の生き方に向きあえるような工夫をする。

【特別活動】

- ・子どもたちが、たて割り班活動などの高学年が主体となる活動で、自信をもって取り組めるように、事前指導を徹底する。